

長崎県立宇久高等学校「探究型授業」

探究型授業の目標

※相対的判断力…絶対的な事実や根拠のみに基づく判断ではなく、文脈や立場に応じて判断する力

「**問い**」を中心とした授業展開によって、生徒が**教科を超えて主体的に学ぶ環境**を整え、「**対話**」によって、生徒が物事を合理的に判断するための**論理的思考力**や、物事の曖昧さ・立場による考え方の差異を受容したうえでの**相対的判断力**※を育み、生徒が自身の**価値観を更新**しながら**新たな価値を創造**する中で、**Uku 7 Keys**を統合的に育成する。

「問い」

【エキスパートレベル】

公益性のある問い（社会×教科横断 or 単一教科）

社会をより良くするための問い。教科横断的又は単一教科の視点から、自己や他者の価値観を踏まえて、事象を複眼的・批判的・総合的に捉え、解決を目指す。

【ファーストレベル】

当事者性のある問い（個人×単一教科 or 教科横断）

生徒個人の意見に関する問い。単一教科又は教科横断的な視点から、得た知識等を駆使し当事者として解決を目指す。

【グラウンドレベル】

情報を得る問い（探究型授業の**必要条件**）

教科の世界に関して、生徒が知識・技能を拡大する問い。得た知識・技能の定着を目指す。

「対話」

【エキスパートレベル】

探究対話

物事の合理性や多様な価値観を考慮しつつ協働し、合意形成を図りながら、問いの答えを導き出すことで、新たな価値を創造する対話。

【ファーストレベル】

合理的対話

個人の価値観にとらわれず、物事を合理的に考える対話。

価値付け対話

物事の曖昧性・定義・善悪等について価値観を広げる対話。

【グラウンドレベル】

知識・技能獲得対話（探究型授業の**必要条件**）

上記「合理的・価値付け・探究対話」における問いの答えを導くための材料（知識・技能）の獲得を図る対話。

究める

深める

見つける

「各教科における探究的な学びの内容例」と「少人数指導・DXハイスクール」

少人数指導

個別最適化
発言機会増加
柔軟な授業展開
安心できる環境
オンデマンド教材

家庭科

衣食住・生き方・金融

保健体育

健康観・技能の上達過程

国語

自己と社会・意見文・討論

地歴・公民

出来事や制度の多面的解釈

理科

仮説・データ収集・分析・考察・量的研究法

探究（学校設定教科）

宇久民俗誌・教科横断探究・質的研究法

芸術

観察・アート思考・表現技法

数学

統計・相関係数・データ処理

情報

データ分析・情報倫理

商業

情報処理・プログラミング

英語

英語論文・プレゼンテーション

DXハイスクール

遠隔授業
ハイスペックPC
ドローン
電子天体望遠鏡
各種測定機器